



日本保全学会

東北・北海道支部
ニュースレター NO.8

2017.10

Editor

日本保全学会
東北・北海道支部
広報・会員委員会

Contact

Mail :
north.com@jsm.or.jp
Tel & Fax :
022-211-9889
Address :
〒980-8579
仙台市青葉区荒巻字青葉
6-6-01-2
東北大学 大学院工学研究科
量子エネルギー工学専攻内
URL :
www.jsm.or.jp/branch/index.html

東北・北海道支部「第2回保全技術交流会」の開催

主催:日本保全学会 東北・北海道支部
日時:平成29年8月24日(木)14:00～25日(金)17:00
会場:青森原燃テクノロジーセンター(青森県東北町)

1. はじめに

本保全技術交流会は、現場実務者による非破壊検査ないしは現場保全技術に関する事例紹介および意見交換を目的に昨年度より企画した支部行事です。2回目となる今回は、青森県東北町にある青森原燃テクノロジーセンター(通称テクセン)にて、総勢68名の多数の参加者のもと、ねぶた祭りに劣らぬ熱気につつまれたなかで開催されました。

本会は3部で構成され、発表者からのプレゼンテーションと質疑による「技術交流会」を第1部とし、第2部は「情報交換会」として、第1部の意見交換のさらなる深掘りや参加者からの感想や意見等が披露されました。第3部は「見学会」として、(株)ジェイテック 技術・訓練センター(JTTC)、日本原燃(株)PRセンター・L1余裕深度処分調査抗および航空自衛隊三沢基地の視察が行われました。



開会挨拶 大柿 一史氏
(日本原燃(株))



会場 テクセン 第一研修室

技術交流会は、実行委員長である大柿 一史氏(日本原燃(株))の挨拶で開始されました。

2. 技術交流会

技術交流会は、第1セッションを「試験・検査」(座長 高木 敏行氏(東北大学)、大柿 一史氏(日本原燃(株)))として5テーマ、第2セッションを「現場保全事例」(座長 鈴木 賢治氏(新潟大学)、山本 文紀氏(株)ジェイテック))として6テーマ、合計11テーマについて発表がなされ、質疑および意見交換が行われました。

第1セッション:試験・検査
座長:高木 敏行氏(東北大学)
大柿 一史氏(日本原燃(株))

- (1) 音響診断法による埋込金物検査技術の開発
日本原燃(株) 三浦 進氏
- (2) アレイ面探装置による熱交換器の面探傷
日鋼検査サービス(株) 渡辺 茂樹氏
- (3) 供用中除染へのワイドレーザー適用に向けた取組みについて
株)ジェイテック 市川 友博氏

2017.10

Editor

日本保全学会
東北・北海道支部
広報・会員委員会

Contact

Mail :
north.com@jsm.or.jp
Tel & Fax :
022-211-9889
Address :
〒980-8579
仙台市青葉区荒巻字青葉
6-6-01-2
東北大学 大学院工学研究科
量子エネルギー工学専攻内
URL :
www.jsm.or.jp/branch/index.html

(4) 女川原子力発電所 計測機器点検データ作成におけるタブレットの導入について

東北電力(株) 岩 慎一氏

(5) 落雷に対する再処理施設の安全設計について(新規制基準への適合性)
日本原燃(株) 鈴木 一晶氏



第1セッション参加者発表の様子



第1セッション質疑応答の様子

第2セッション:現場保全事例
座長:鈴木 賢治氏(新潟大学)
山本 文紀氏(株ジェイテック)

(6) 海水に浸水した電動機の復旧に関する調査
北海道電力(株) 沼田 和也氏

(7) 重大事故時における放射性物質拡散抑制にむけた泊発電所の対策について

北海道電力(株) 中川 裕貴氏

(8) 柏崎刈羽原子力発電所における系統監視活動について
東京電力ホールディングス(株) 松田 淳氏

(9) 東通原子力発電所 非常用D/G(B)基準軸受における下軸受メタル組み込み時のすり傷の発生について

東北電力(株) 小野 剛滝氏

(10) ろ過水タンクの点検保守における腐食部材の補修について
東北発電工業(株) 相澤 貴紀氏

(11) 燃料サイクル施設の保全の概要とジェイテックの役割
株ジェイテック 浜田 靖氏



第2セッション議事進行の様子



第2セッション参加者発表の様子

発表者は、それぞれのテーマについて、自身の取り組みや体験に基づいた現場の保全活動における生の声を、感想を交えて発表するとともに、座長による的確な進行とリードにより、会場から活発な質疑や意見交換が定刻ぎりぎりになるまで繰り広げられました。

技術交流会の講評として、本部から出席頂いた宮 健三理事長より、若い技術者が多く参加して熱心に討議しており、人材育成、技術交流として意義がある。とのコメントを頂き、今後さらに技術交流会の発展に対する期待が寄せられました。

2017.10

Editor

日本保全学会
東北・北海道支部
広報・会員委員会

Contact

Mail :
north.com@jsm.or.jp
Tel & Fax :
022-211-9889
Address :
〒980-8579
仙台市青葉区荒巻字青葉
6-6-01-2
東北大学 大学院工学研究科
量子エネルギー工学専攻内
URL :
www.jsm.or.jp/branch/index.html

最後に、青木 孝行氏(東北大学)より、保全作業現場に役立つ内容であった。産業界と学术界が融合して、安全性、経済性に役立っていくべきである。その面でも技術交流会のような横のつながりは貴重である。との閉会の挨拶を頂きました。



講評 宮 健三理事長



閉会挨拶 青木 孝行氏
(東北大学)

3. 情報交換会

技術交流会終了後、会場を食堂に移し、情報交換会が開催されました。開会の挨拶を松田 孝司氏(日本原燃株)および橋爪 秀利東北・北海道支部長(東北大学)から頂き、乾杯の音頭を山口 伸一氏(株ジェイテック)から頂きました。



開会挨拶 松田 孝司氏
(日本原燃株)



開会挨拶 橋爪 秀利
東北・北海道支部長(東北大学)

冒頭、今回青森地区での本会開催の思い出にと、参加者である岡山 康広氏(ATOM Works株)の肝入りで地元の津軽三味線の演奏を「つくだ貞夫一座」の附田 貞夫様および和太鼓の演奏を「龍神太鼓保存会」の鳴海 昭仁様からご披露頂き、会場いっぱいになり響く迫力満点の生演奏を参加者一同満喫するとともに、地元の海の幸・山の幸をあしらった豪華料理と飲み物に舌鼓を打ちながら、活発な意見交換が繰り広げられました。



「つくだ貞夫一座」の演奏



「龍神太鼓保存会」の演奏

そして、技術交流会に参加した各社の代表者から感想や抱負等の挨拶を頂き、保全技術交流会のさらなる活性化と次回第3回保全技術交流会を北海道地区にて開催することが申し合わされ、最後に須田 憲司氏(株ジェイテック)より締めめの挨拶を頂きました。



日本保全学会

東北・北海道支部

ニュースレター NO.8

2017.10

Editor

日本保全学会
東北・北海道支部
広報・会員委員会

Contact

Mail :
north.com@jsm.or.jp
Tel & Fax :
022-211-9889
Address :
〒980-8579
仙台市青葉区荒巻字青葉
6-6-01-2
東北大学 大学院工学研究科
量子エネルギー工学専攻内
URL :
www.jsm.or.jp/branch/index.html



乾杯音頭 山口 伸一氏
(株)ジェイテック



情報交換会の様子



各社代表者からのスピーチ



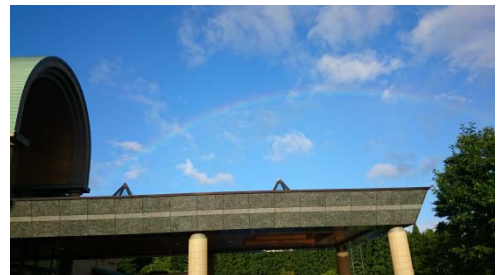
締めめの挨拶 須田 憲司氏
(株)ジェイテック

4. 見学会

2日目の見学会は、前日の降雨から一転、晴天のもと早朝5時の小川原湖ウォーキングから始まりました。

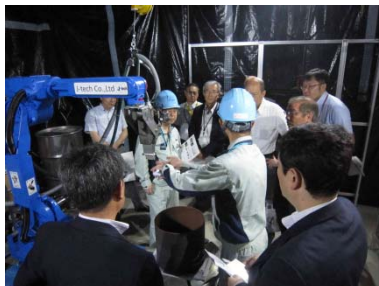


小川原湖ウォーキング



テクセンに架かる虹

(株)ジェイテック技術・訓練センター(JTTC)では、4つのブースに分かれてワイドレーザー除染装置等のデモンストレーション展示を視察しました。日本原燃(株)PRセンターでは、再処理施設の全体概要を実規模に近い立体模型での説明を受け、地下約100mの巨大空間での余裕深度処分調査の状況を視察しました。



(株)ジェイテック技術・訓練センター
(JTTC)視察



日本原燃(株)PRセンター視察



日本保全学会

東北・北海道支部

ニューズレター NO.8

2017.10

Editor

日本保全学会
東北・北海道支部
広報・会員委員会

Contact

Mail :
north.com@jsm.or.jp
Tel & Fax :
022-211-9889
Address :
〒980-8579
仙台市青葉区荒巻字青葉
6-6-01-2
東北大学 大学院工学研究科
量子エネルギー工学専攻内
URL :
www.jsm.or.jp/branch/index.html

午後は、航空自衛隊三沢基地(米軍との共同使用)に移動して、特別に依頼して実現した格納庫での国産F2戦闘機の保全状況を間近で視察することができました。



航空自衛隊三沢基地視察(講義)



航空自衛隊三沢基地視察(格納庫)

5. おわりに

本会の開催にあたり、発表および参加された皆さま、視察の機会を頂きました航空自衛隊三沢基地ならびに会場の提供および運営にご尽力頂きました(株)青森原燃テクノロジーセンター、(株)ジェイテックおよび日本原燃(株)の関係者の皆さまに感謝申しあげ、本交流会が盛況裡に開催できましたことに厚くお礼申しあげます。



参加者 記念撮影